

バス業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	16~17	中扉より電動車イスを降車中、電動車イスが急に下がってきたため腕に重量がかかり左肩を負傷した。	55	50~99
6	13~14	当社敷地内にある有蓋車庫において、同僚と一緒にバス用バッテリーを運んで来たトラックの誘導及びバッテリーをトラックより降ろす作業に従事中、同僚の一人がトラックの荷台よりバッテリー（重さ約55kg）を降ろそうとしたところ、バッテリーの重さで当該バッテリーを地面に落とし、地面に落下したはずみで転がった当該バッテリーが、一緒に作業をしていた被災労働者の右足甲に当たり負傷した。	60	30~49
6	22~23	路線バスに乗務中、バス停で降車した旅客が車内に戻って来た後、その旅客に暴行されたと申告があったものである。	46	100~299
7	7~8	当該乗務員は夜行高速バスの運行を終え、担当車両を定置場に駐車後、バスから自分の荷物を降ろすため、バス前方に自家用車を止めバスから荷物を降ろしていた。同僚の乗務員も同じく荷物を降ろすため、当該乗務員の後方に自家用車を停車させた。同僚はギヤをパーキングに入れたと思い込みドアを開けたところ警告音がなり、あわてた同僚はブレーキとアクセルを間違えて踏み車が前進。車と車の間に当該乗務員が挟まれ負傷したものである。	54	50~99
7	11~12	バスを運行するため発車待ちをしていたところ、車椅子のお客様が乗車してきた。車椅子を固定するため足ベルトを左手で引き出そうとしたとき、後進してきた車椅子の車輪が左手に当たり、左肩に痛みがはしった。	44	100~299

12	10~11	<p>当日、ダイヤ中休中に、営業所車庫内をゴミ拾いのため歩いていたところ、川側の駐車スペースにてバックしてきた大型バスに衝突した。両隣が中型バスだったため、全長の長い大型バスの駐車範囲に踏み入ってしまったことと、それに運転士が気が付かなかったことが原因である。</p>	<p>100 55 ~ 299</p>
----	-------	--	---------------------------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html